平成 26 年 4 月 25 日

各　位

上場会社名　近畿車輛株式会社
代表者　代表取締役社長　森下 逸夫
（コード番号　7122）
問合せ責任者　経営企画本部　経理部長
山本 隆彦
（TEL　06-6746-5231）

通期連結業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩し並びに配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

このたび、平成 26 年 2 月 6 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1．通期連結業績予想の修正について

(1)平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	14,000	△3,800	△3,700	△2,200
今回発表予想（B）	13,200	△4,600	△4,500	△5,900
増減額（B－A）	△800	△800	△800	△3,700
増減率（%）	△5.7	―	―	―
（ご参考）前期実績（平成25年3月期）	22,307	△76	201	474

(2)修正の理由

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、売上が一部翌年度に繰り下げとなったことにより売上高が 13,200 百万円となる見込みです。さらに、現在製造中の車両については新車種が多く、設計・製造ともに想定以上の原価増が予想され、翌年度売上分の採算悪化による受注損失引当金を計上する見込みとなりました。これにより営業損失及び経常損失は、それぞれ 4,600 百万円、4,500 百万円となる見込みです。

当期純損失につきましては、繰延税金資産の計上の見送りと過年度の繰延税金資産の取崩しにより、5,900 百万円となる見込みです。

(3)繰延税金資産の取崩しについて

今回の修正予想を踏まえ、将来の利益計画に対する見直しを含めて繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当期において当社の繰延税金資産を取崩し、1,582 百万円を法人税等調整額に計上いたします。

今後も引き続き収支的に厳しい状態が続く見込みですが、操業度が回復してきており、更なる受注の確保に努め収支改善を図ってまいります。

なお、平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、現在精査中でありますので、平成26年5月9日に予定しております決算発表時に公表いたします。

2．配当予想の修正について

(1)修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期　末	合　計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
前回発表予想（A）	－		－	5.00	5.00
今回発表予想（B）	－		－	0.00	0.00
当期実績	－	0.00	－		
（ご参考）前期実績 （平成25年3月期）	－	0.00	－	5.00	5.00

(2)修正の理由

当社では、株主に対する継続的な利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置付けており、受注産業としての性格上、事業年度毎に受注環境に大きな変動が生じやすいため、業績の状況に左右されない安定配当を行うことを基本方針としております。しかしながら、前述の業績予想の修正を踏まえました結果、誠に遺憾ではございますが期末配当金の予想を無配に修正させていただきます。

なお、期末配当金の正式決定は、平成26年5月9日の取締役会で行う予定です。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上